

予 算 要 求 資 料

令和5年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名【新】果樹花粉緊急確保対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 野菜果樹特産係 電話番号：058-272-1111(内4120)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 2,966 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	2,966	0	0	0	0	0	2,966	0	0
決定額	2,966	0	0	0	0	0	2,966	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・りんご、なし等に被害をもたらす「火傷病」が中国で発生したことが確認され、苗木、花粉等の輸入が令和5年8月30日以降停止となっている。
- ・本県主要品目のりんご・なしの産地では、人工授粉で中国産の花粉を多く使用しているが、中国産花粉に代わる花粉を供給できる産地は、国内外ともに確保されていない。
- ・そのため、花粉を確保する技術を早急に確立し、県内で確保できる体制の確保が必要である。

(2) 事業内容

- ・県の試験研究機関（農業技術センター、中山間農業研究所）において、花粉確保の研究を実施するのに必要な機械を導入する。
- ・花粉の安定生産に向けた検討会や技術研修会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

定額 国補助金「令和5年度補正果樹農業強靱化緊急対策（花粉供給緊急対策事業）」を活用する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	2,866	・実証に必要な機器の導入（2か所）
旅費	100	・検討会、技術研究会の開催に係る経費
合計	2,966	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県果樹振興計画
主要品目（なし、りんご）生産振興に位置付けられている。

(2) 国の状況

法令等との関係
・果樹農業強靱化緊急対策補助金交付等要綱
・果樹農業強靱化緊急対策実施要領

(3) 後年の財政負担

国補助金「令和5年度補正果樹農業強靱化緊急対策（花粉供給緊急対策事業）」を活用するため、単年度である。

(4) 事業主体及びその妥当性

産地は複数の市町を含むため、岐阜県が実施することが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

来年度のなし、りんごの人工授粉時期までに、花粉を確保する技術を早急に確立し、県内で確保できる体制を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①産地の供給体制の確立	6産地				8産地	
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	りんご、なし等に被害をもたらす「火傷病」が中国で発生したことにより、花粉等の輸入が令和5年8月30日以降停止となっていることから、必要性は高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 産地のニーズを把握し、導入した機械を利用し、効率的に産地へ花粉を供給する体制づくりが求められる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内主な産地で自ら花粉供給体制を確立できるまで取り組みべきである。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】